

# 令和6年度、ここがポイント！！

## 群馬県教育ビジョンの最上位目標のキーワード(「ウェルビーイング」、「エージェンシー」)

### ウェルビーイングとは・・・

- 自分もみんなも幸せや生きがいを感じられること。  
身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。

### 例えば・・・

学校や地域がみんな大好き！

温かくて居心地がいいなあ・・・

### ここがポイント！

- 子どものウェルビーイングは、学校・家庭・地域のそれぞれのウェルビーイングと互いにかかわり合っていることを踏まえ、教職員が働きがいを実感し、家庭や地域と連携・協働しながら学校教育目標の達成を目指した学校づくりに努めましょう。
- 学校運営協議会などで、教職員と地域の方が互いの思いや願いを話し合い、共通理解を図ることも大切です。

### エージェンシーとは・・・

- 課題を自分事化し、自分で考え、自分で判断し、自分で動き出そうとする意志の強さ。

### 例えば・・・

より良い学校にしたいなあ



図書室を利用する子が少ないな。もっと多くの人に利用してほしいな。

利用しやすい図書室になる方法を図書委員会で話し合っ、代表委員会に提案してみよう。



### ここがポイント！

- 自分で課題を見付け、**試行錯誤**しながら最終的に**自己決定**していく場面を設定しましょう。
- 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深めるような**対話や交流**の場面を設定しましょう。
- 各教科等の授業において、**児童生徒がエージェンシーを発揮している姿を具体化**していきましょう。

## 非認知能力育成に向けたモデル校による実践研究

### R5（1年目）の主な取組

- 指定校連絡協議会での情報交換と先進校視察
- 川場小中連絡会議・研修会の実施（「非認知能力育成だより」の発行）
- 小中合同運動会の実施
- 非認知能力を3つの視点から整理

じっくり      ぐんぐん      にこにこ



### R6（2年目）の主な取組

- 小・中学校で校内研修の主題・副主題を統一し、授業実践を進める。
- 生徒指導の場を「成長の好機」と捉え、自己決定を促す指導により内面を言語化させ、自力での問題解決を体験させる。
- 3つの視点(下の表)から個人目標を設定し、定期的に振り返る。

自分と向き合う力	自分を高める力	他者とつながる力
じっくり	ぐんぐん	にこにこ
自制心、忍耐力、レジリエンス(回復力)など	意欲・向上心、自信・自尊感情、楽観性など	コミュニケーション力、共感性、社交性・協調性など

### ここがポイント！

- 認知能力と非認知能力は関連しながら身に付いていくため、指定校以外の学校においても、児童生徒にどのような力を育成したいのか、その力はどの場面で育まれるのかななどを、学校全体で共通理解を図り、自校の教育活動を見直し・点検しましょう。

## 発達障害のある児童生徒等に対する支援事業「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」

### R5（1年目）の主な取組

- 支援事業連絡会議の開催と管内中学校の通級指導に係る情報交換
- 通級指導担当教員を対象とした授業研究会の実施
- 通級指導の理解促進に係る職員研修の実施
- 通級指導実施校の調査

### R6（2年目）の主な取組

- 行政区を越えた通級による巡回指導を実施する。
- 支援事業連絡会議の開催と管内中学校の通級指導に係る情報交換(通級指導実施校担当者間の情報交換を含む)を行う。
- 巡回通級指導教室は以下のような環境で行う。  
(例) 落ち着いた教室環境、「自立活動」に必要な教材・教具、通級する生徒の情報(個別の指導計画等)、担任との引継ぎノート等

### ここがポイント！

- ・学齢期の切れ目ない支援体制が図れるよう、指定校以外の学校でも校内教育支援委員会を定期的実施し、市町村教委の教育支援委員会との連携に努めることが大切です。特に、小学校で通級指導を受けていた児童が中学校進学を見据え、どのような学びの場が適切か、保護者の思いなども踏まえた支援に努めましょう。